

2019年12月4日 第17回定期総会開く シニアへの理解深まる現退会議 新たな組織加入を実現
事務局長 森峰 茂樹

JAM九州・山口シニアクラブは10月24日一泊二日の日程で熊本市植木温泉のホテルで第17回総会を開き、九州・山口の6県から32名が参加した。初日は恒例のグランドゴルフ大会で4ゲームに熱戦を繰り広げた。優勝は本総会を今期に加入した不二サッシュユニオンシニアクラブの開さんで79打のハイスコアで栄冠に輝いた。夜の懇親会も大いに盛り上がり、各県対抗歌合戦さながらに熱唱が相次ぎ歓声が弾んだ。

翌日は本部提案の年金学習会と総会を行った。年金学習会は九州労金熊本支店の加藤係長を講師に学習したが、その資料が厚生省のホームページを用いており、金融庁発表の2000万円不足問題や財政検証の結果など踏み込みもなく、消化不良の講演だった。

引き続き総会ではJAM本部シニアクラブ大野事務局長、九州・山口の横田執行員長から挨拶を受けた。

大野事務局長は社会保障を巡る将来不安にふれ、可能な限りシニアクラブの幹事会に出席し、シニアクラブの活動と意向を共有したいと抱負を語ったが、その言葉通り現退交流が一段と進んだことの一年だった。

現退対話会議ではシニアクラブへの理解と関心が一段と深まり、7県・地協がある中で3県・地協でOB交流会が実施され、残る県・地協でも開催に向けた検討が始る中で、組織の強化に向けた活動方針を確認した総会は核兵器廃絶1千万署名で締めた。